

- 1 律令制において、中央から派遣された国司のもとで、現地の有力な豪族が任命された役職を何という？
- 2 大化の改新以降、土地や人民はすべて国家のものであるとした原則を何という？
- 3 713年、国ごとに地理や産物などをまとめるように命じた天皇は誰？
- 4 奈良時代、聖武天皇が仏教による国家の守護を目指して、国分寺の総本山として都に建立させた寺院は何という？
- 5 郡司が行政に携わった、大宝律令などに基づく国家体制を何という？
- 6 唐の進んだ政治制度を取り入れ、戸籍をつくって天皇のもとに権力を集めた国家のしくみを何という？
- 7 聖武天皇の時代に奈良を中心に栄えた、唐や西アジアの文化の影響を受けた国際色豊かな文化を何という？
- 8 『日本書紀』で、神代から歴史が記録されている最後の天皇は誰？
- 9 奈良時代の仏教文化を象徴する建造物で、西アジアの品々も収められている有名な寺院を何という？
- 10 律令国家の統治体系として、中央から地方の国に派遣された役人を何という？
- 11 奈良時代、租庸調の税を納める際に、荷物の内容や送り主などを記すために使われた木製の札は何という？
- 12 743年に出され、開墾した土地を永久に私有することを認めることで、土地の私有化を広めた法律を何という？
- 13 シルクロードを経て伝わった宝物や唐の工芸品が収められ、現在も東大寺にある施設は何という？
- 14 東大寺にあり、当時の国際色豊かな宝物が数多く収められている施設を何という？
- 15 正倉院で見られる、三角材を組み上げて湿気を防ぐ建築様式を何という？
- 16 人口増加により不足し、開墾のきっかけとなった、政府が農民に与えた土地を何という？
- 17 律令制において郡司に任命された、その土地に古くから勢力を持つ有力者を何という？
- 18 710年、現在の奈良県に建設され、奈良時代の政治の中心となった都を何という？
- 19 遣唐使の船が日本から中国へ向かう際、多くの遭難者を出した荒れる海域を何という？
- 20 班田収授法によって、国が戸籍に基づいて6歳以上の男女に分け与えた土地のことを何という？
- 21 743年に発令され、新しく開墾した土地の永代私有を認めることで、土地の私有化を推進した法律を何という？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	「 郡司 」は、地方の行政単位である郡の実務責任者です。		郡司	☐
2	7世紀の「大化の改新」によって打ち出された政策です。		公地公民	☐
3	第43代天皇で、710年の平城京遷都を実行しました。		元明天皇	☐
4	聖武天皇の命により、各国の国分寺を束ねる総本山として建設されました。		東大寺	☐
5	律令国家 では、公地公民の原則に基づき、戸籍を作成して人々に税を課しました。		律令国家	☐
6	唐の律令制度を模範として、戸籍を作成し、国司を地方に派遣して全国を支配する体制を整えました。		中央集権	☐
7	天平文化 は、聖武天皇を中心とする貴族や仏教が主導した文化です。		天平文化	☐
8	神話の時代から始まり、 持統天皇 の時代までの歴史を詳細に記しています。		持統天皇	☐
9	東大寺 は、当時の都である平城京に建立された巨大な寺院です。		東大寺	☐
10	国司 は、その土地の税の徴収や戸籍の管理、裁判など、地方行政全般を担いました。		国司	☐
11	木簡 は主に松や杉などの板を薄く削って作られ、墨で文字が書かれました。		木簡	☐
12	政府は、743年に「 墾田永年私財法 」を制定しました。		墾田永年私財法	☐
13	聖武天皇が亡くなった際、光明皇后が天皇をしのんで東大寺に奉納した品々を収めた校倉造りの建物です。		正倉院	☐
14	正倉院 は校倉造という独特の建築様式で建てられ、湿度の変化に応じて木材が伸縮することで内部の環境を一定に保つ工夫がなされています。		正倉院	☐
15	校倉造 は、断面が三角形の木材を井桁（いげた）に組んで壁を作る工法です。		校倉造	☐
16	口分田 （くぶんでん）は、戸籍に基づき、6歳以上のすべての人々に政府が支給した耕作地です。		口分田	☐
17	終身制であったため、現地の地盤を持つ 豪族 たちがその地位を世襲的に継承することが一般的でした。		豪族	☐
18	710年に元明天皇によって遷都された計画都市です。		平城京	☐
19	東シナ海 は波が荒く、また気象観測技術も未熟だったため、渡航は命がけの作業でした。		東シナ海	☐
20	6歳以上の男女に対し、戸籍の記載に従って一定面積の 口分田 を支給しました。		口分田	☐
21	743年に制定された 墾田永年私財法 は、新しく開墾した土地を一定の条件のもとで永久に私有することを認めた制度です。		墾田永年私財法	☐

言えなかった用語ノート